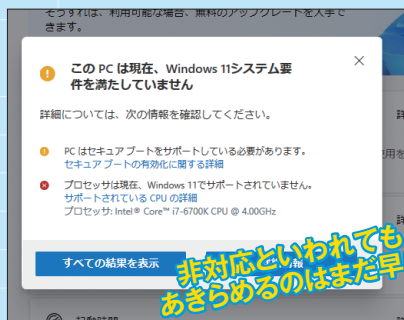


Windows 11非対応のPCはもうあきらめるしかない?

非対応PCでもWindows 11のインストールは可能

強制インストールの注意点

- ×公式サポートの対象外となる
- ×今後、アップデートできない可能性がある
- ×ハードの互換性の問題が起こる可能性がある
- ×動作が不安定になる可能性がある
- ×ライセンス認証時のトラブルの可能性がある



Windows 11に非対応のPCでも、非公式の方法でWindows 11に移行することが可能。ただし、いくつか注意点があり、もっとも重要なポイントは「公式サポートの対象外となる」こと。つまり、不具合が起こっても問い合わせはできず、自力で解決がキホンです。また、以降のアップデートが対象外となる可能性もあります。とはいえ、そのリスクを考慮しても、サポート切れのWindows 10を使い続けるよりは、はるかにおすすめです。

Flyoobeで互換性のチェックを回避

非公式の方法では、「Flyoobe」という無料ソフトを利用します。これは、Windows サーバーを装うことで、Windows 11のインストール時の互換チェックを回避するというツール。このため、インストーラーには「Windows Serverのインストール」と表示されますが、実際はWindows 11がインストールされます。



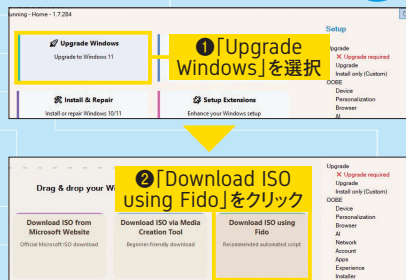
フライビー
Flyoobe (Flyby11)

作者 ▶ Builtbybel

対応OS ▶ Windows 10

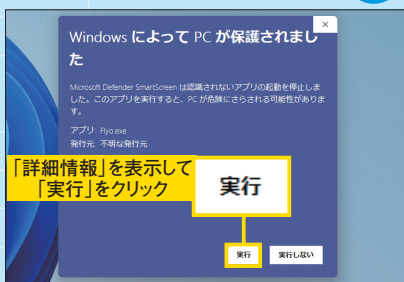
URL ▶ <https://github.com/builtbybel/Flyby11>

Win11へのアップグレードとISOのダウンロードを選択 ③



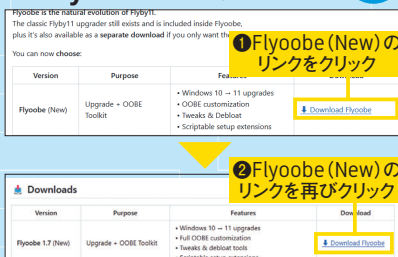
左上の「Upgrade Windows」を選択し、画面が変わったら「Download ISO using Fido」をクリックします

Flyoobeを起動 ②



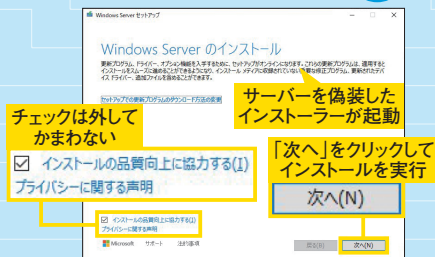
入手したFlyoobeを起動すると、Windowsのセキュリティ警告が表示されるので、「詳細情報」を表示して「実行」を選びます

GitHubからFlyoobeをダウンロード ①



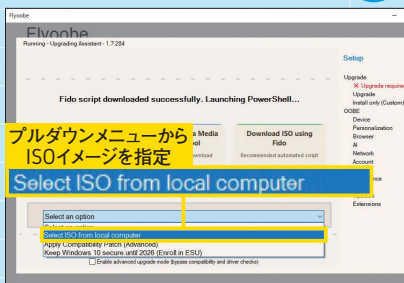
GitHubにアクセスして、ページ下方にある「Flyoobe (New)」のリンクをクリック。次ページの最新版のリンクからFlyoobeをダウンロードします

Windows 11のインストーラーが起動 ⑥



これでWindows 11のインストーラーが起動します。表示はServerとなっていますが、互換性のチェックを回避するための偽装で、実際はWindows 11がインストールされます

FlyoobeからISOイメージを起動 ⑤



Flyoobe 下段のプルダウンメニューで「Select ISO from local computer」を選び、保存したISOイメージを指定します

ダウンロードするWindows 11を指定 ④



Windows 11の詳細選択が表示されるので、「Continue」をクリックし続けます。最後に「Download」をクリックし、ISOイメージをPCに保存します

